令和６年度用小学校音楽

───────────────────────　第１学年　年間学習指導計画作成資料（2024. 3. 8)　─────────────────────

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、弊社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１〜６〈104〜604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成29年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

　（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

　（２）「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

　（３）「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

　の視点に基づいて作成しています。

　（１）について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。３学期制と２学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。

・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。

・「Ａ表現」⑴歌唱、⑵器楽、⑶音楽づくりのア、イ、ウの各事項、「Ｂ鑑賞」のア、イの指導事項は、 各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。

・学期ごとや１年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。

・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で記しています。

・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１学年　年間学習指導計画作成資料 | | | | | | | | 学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【第１学年及び第２学年 目標】  (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。  (2)音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。  (3)楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | | | | | | | | Ａ表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | Ｂ鑑賞 | | 〔共通事項〕 | |
| 扱い月  の  目安 | | 扱い時数 | 題材名 | | 題材の目標  (1)「知識及び技能」の習得  (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成  (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名  ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり　**♪**…鑑賞  (共)…共通教材 | 歌唱 | | | | | 器楽 | | | | | | 音楽づくり | | | | | | 鑑賞 | |
| 合計68 | ア | イ | ウ | | | ア | イ | | ウ | | | ア | | イ | | ウ | | ア | イ | ア 音楽を形づくっている要素 | イ 音符、休符、  記号や用語 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |
| ４ | ４ | ４ | 1.  うたって おどって  なかよく なろう | | (1)曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。  (2)リズム、速度、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。 | （導入）きいて うごこう | **♪**どみそらんど |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | リズム  速度  旋律  強弱  拍 |  |
|  |  | （導入）うたって なかよく なろう | （歌探し） | ○ | ◎ |  |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・ともだちと いっしょに おどりましょう。 | **♪**セブン ステップス |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ○ |
|  |  | **♪**チェッ チェッ コリ（参考曲） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
|  |  | ・みんなで あそびながら  たのしく うたいましょう。 | (共)ひらいた ひらいた | ◎ | ○ |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ７ | 2.  はくを かんじとろう | | (1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付ける。  (2)音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。 |  | (そだてよう)おとで おはなし |  |  | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  | 音色  リズム  **拍**  フレーズ  呼びかけと  こたえ |  |
| ５ | ５ |  | (そだてよう)手拍子で リレー |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ | ○ |  |  | ○ | ○ |  |  |  |
|  |  | ・おんがくに あわせて  からだを うごかしましょう。 | **♪**さんぽ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・[**たん たん**｜**たん (うん)**] の リズムで  あそびましょう。 | ◇○じゃんけんぽん |  | ○ | ○ |  | ○ |  | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・うたに あわせて  リズムを うちましょう。 | ◇○みんなで あそぼう | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６ | ６ | ９ | 3.  はくに のって  リズムを うとう | | (1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。  (2)リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。 | ・おんがくに あわせて  リズムを うちながら ききましょう。 | **♪**しろくまの ジェンカ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色  リズム  旋律  **拍**  フレーズ  反復  呼びかけと  こたえ |  |
|  |  | ・はくに のって、  あかるい こえで うたいましょう。 | (共)かたつむり | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・**たん**と **たた**の ちがいに きづいて  リズムを うちましょう。 | ◇○ぶん ぶん ぶん |  | ○ | ○ |  |  | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・**たん**と **たた**を つかって  ことばで リズムを つくりましょう。 | ☆ことばで リズム |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |
| ７ | ７ | ・うみの ようすを おもいうかべながら  うたいましょう。 | (共)う み | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ２ | 4.  みの まわりの おとに  みみを すまそう | | (1)身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。  (2)音色、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声遊びを通して、音楽づくりの発想を得る。  (3)身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。 | ・みつけた おとで よびかけあいましょう。 | ☆おとを さがして あそぼう |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  | ◎ |  |  |  | **音色**  **呼びかけと**  **こたえ** |  |
| ９ | ９ | ８ | 5.  ・・・  どれみと  なかよく なろう | | (1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。  (2)音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、音の高さの違いや鍵盤楽器への関心を広げる。 | ・けんばんハーモニカで  いろいろな おとを みつけましょう。 | ◇☆たのしく ふこう |  |  |  |  |  | ◎ |  | ◎ |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  | **音色**  旋律  強弱  呼びかけと  こたえ |  |
|  |  | ・**ど**と **そ**の おとと ともだちに なりましょう。 | ◇○どんぐりさんの おうち |  | ◎ | ○ |  |  |  | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | (そだてよう)けんばんハーモニカで  おとあそび |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ | ○ |  | ○ |  |  | ○ | ○ |  |  |  |
|  |  | ・けんばんハーモニカの おとを ききましょう。 | **♪**みつばちハニーの ぼうけん |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・**どれみふぁそ**の おとと  なかよしに なりましょう。 | ◇○なかよし |  | ◎ | ◎ |  | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・おとの たかさに きを つけながら  うたいましょう。 | (共)ひのまる | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 | 10 | ６ | 6.  せんりつで  よびかけあおう | | (1)曲想と旋律や呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。  (2)音色、旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の呼びかけ合いに親しむ。 | ・たがいの こえを ききながら  よびかけあって うたいましょう。 | ○やまびこ ごっこ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  **旋律**  強弱  **呼びかけと**  **こたえ** |  |
|  |  | (そだてよう)まねっこあそび |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  |
|  |  | ・よびかけあうように せんりつを つなげて  あそびましょう。 | ☆せんりつの よびかけっこ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |
|  |  | ・せんりつが よびかけあう おもしろさを  かんじながら ききましょう。 | **♪**こうしんきょく |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
| 11 | 11 | ８ | 7.  がっきと  なかよく なろう | | (1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。  (2)音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかや、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる打楽器の音色に親しむ。 | ・いろいろな おとを みつけて ならしましょう。 | ◇☆おとさがし |  |  |  |  |  | ○ |  | ◎ |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  | **音色**  リズム  拍  反復  呼びかけと  こたえ |  |
|  |  | ・きに いった おとを みつけて、  うたと いっしょに ならしましょう。 | ◇○さがして みよう ならして みよう |  | ○ | ○ |  | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・えから おもいうかべた おとを くみあわせて、  おんがくを つくりましょう。 | ☆えから うまれる おんがく |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |
|  |  | ・みみを すまして  がっきの おとを ききましょう。 | **♪**シンコペーテッド クロック |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
| 12 | 12 | ６ | 8.  ようすを  おもいうかべよう | | (1)曲想と音色や速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付ける。  (2)音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。 | ・ほしぞらの ようすを おもいうかべながら、  うたったり えんそうしたり しましょう。 | ○◇きらきらぼし | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  速度  旋律  強弱  フレーズ |  |
|  |  | ・にんぎょうの ようすを おもいうかべながら  ききましょう。 | **♪**にんぎょうの ゆめと めざめ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・の ようすを おもいうかべながら  うたいましょう。 | ○はる なつ あき ふゆ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １ | １ | ４ | 9.  にほんの うたを  たのしもう | | (1)曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。  (2)旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、生活の中の遊びに生かす。 | ・わらべうたを きいたり うたったり して  あそびましょう。 | **♪**さんちゃんが／おおなみ こなみ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 速度  **旋律**  **拍** |  |
|  |  | ・ともだちと いっしょに あそびながら  うたいましょう。 | ○おちゃらか ほい | ◎ | ○ | ○ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ | ２ | 10 | 10.  みんなで あわせて  たのしもう | | (1)曲想とリズムや旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。  (2)音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。 | ・たがいの うたごえを ききあいながら  うたいましょう。 | ○あいあい | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  リズム  旋律  強弱  音の重なり  呼びかけと  こたえ |  |
|  |  | ・うたごえと がっきの おとを あわせて  えんそうしましょう。 | ○◇とんくるりん ぱんくるりん | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３ | ３ | ・たがいの がっきの おとを ききあいながら  えんそうしましょう。 | ◇○こいぬの マーチ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・がっそうの たのしさを かんじながら  ききましょう。 | **♪**クシコスポスト |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
| 年間 | | ４ | 巻末 | うたいつごう にほんの うた | |  | たなばたさま／おしょうがつ／  うれしい ひなまつり | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 全般 |  |
| ※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。 | | | | | | | 国歌「きみがよ」 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |